令和８年度　埼玉県・クイーンズランド州スカラシップレポート

白石　舞

１はじめに

この度、埼玉親善大使として埼玉県・クイーンズランド州スカラシップ（高校生短期留学）プログラムに参加させていただきました、白石舞です。このプログラムでは、7/21～8/5 の約 2 週間オーストラリアクイーンズランド州の yeronga 高校に、留学しました。このレポートでは、留学中の日々で気がついたことや学んだこと、埼玉親善大使としての活動などについて紹介します。

２ブリスベンについて

今回のプログラムでは、クイーンズランド州の州都であるブリスベンという場所に留学しました。ホームステイ先や yeronga 高校は、自然豊かで閑静な住宅街でありながらも、すぐ近くにブリスベンの中心地があるとても便利な場所にありました。そして、1 年を通して温暖で乾燥している地域で、私が留学した時期は冬だったのですが、朝晩は冷え込むものの、昼間は半袖で過ごせるほどの暖かさでした。寒すぎず、湿度も低く、とても過ごしやすい気候でした。

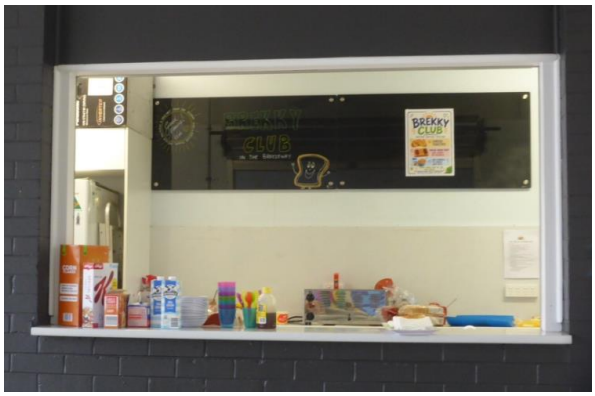
３yeronga 高校での生活について

yeronga 高校は、多くの留学生や多様な国出身の生徒がいて、非常に国際色豊かな学校でした。学校生活では、9 月から埼玉県に留学する予定の 6 人の生徒たちが buddy として私たちと一緒に行動してくれました。このプログラムでは、授業を受けるだけではなく、奨学生と buddy の 6 人と一緒に動物園や美術館などへ遠足に行き、仲を深めることができました。また、日本語の授業が行われているということもあってか、「こんにちは」と多くの生徒が声をかけてくれました。また、様々な国から学生が来ていて、生徒もそれに慣れている様子でした。そして、さまざまな国にルーツを持つ生徒が、分け隔てなく仲良く生活をしていて、多文化共生は実は難しいことではないと感じました。最も興味深かった授業は EAL という英語が第２言語の生徒向けの英語の授業です。国際色豊かな、yeronga 高校ならではだと感じました。映画を見て、そこから英語や文化を学ぶ方式で楽しく、生徒も積極的に発言していました。映画のおかげで、もともとの知識が少なくても進んで授業に参加できるのではないかと思いました。



遠足

また、yeronga 高校では、Brekky club という無料で朝ごはんを食べることのできる場所があります。ホストシスターが毎日そこを利用していたので、私もそこで朝食を食べました。学校で無料で朝ごはんを食べることができるのは、忙しい高校生の欠食を減らすことができるとても良い取り組みだと思いました。そして、そこでご飯を作ってくださっている方々はとても親切で、留学生である私に、ベジマイトなどのオーストラリアの食べ物を試させてくださったり、たくさん話しかけてくださったりしました。また、Brekky club は多くの生徒が利用しているため、そこでたくさんの生徒と話をして仲良くなることが出来ました。



Brekky club

4 ホストファミリーとの生活

このプログラムでは、yeronga 高校の生徒と、その両親、妹の 4 人家族の家庭にホームステイしました。ホストファザーが日本にルーツがあり、少し日本らしさを感じる、みんなが日本語を少し喋れるファミリーでした。またホストファミリーは、ルーツがある国が多く、様々な国について教えてくれたり、料理を食べさせてくれたりして、オーストラリアだけではなく、多くの国に行ったような気持ちになりました。買い物や海にも連れて行ってくれて、本当に楽しかったです。特に、印象的だったのは、毎週木曜日はショッピングモールが 20:00 まで空いているため、夕食後にショッピングに行ったことです。普段は 18:00 までしか空いていないらしく、日本とは全然違って驚きました。ホストファザーが、オーストラリアは live for work ではなく work for live で、自分の生活を大切にする国なのだと教えてくれました。とても素敵な文化だと思いました。また、休日の夜は家でカラオケをしたり、映画を見たりしてとても楽しかったです。私は歌が好きなので日本の歌を歌って、紹介することもできて良かったです。

2 週間毎日、ホストファミリーはいろんなことを教えてくれました。最終日のお別れの時には号泣してしまったくらい大好きなホストファミリー、いつか日本に来たら、自分がしてもらった以上にたくさん日本の良さを伝えてあげたいです！



ホストファミリーと行った山



Lomo saltado というペルー料理

5 埼玉親善大使として

①埼玉県を紹介する会

私は、埼玉親善大使として埼玉県や日本を紹介する会を企画しました。奨学生のみんなと、埼玉県についてのクイズや書道体験、折り紙体験などを行い、私はその中で、埼玉県の歌の紹介に力を入れました。埼玉県でつくられた歌である「旅立ちの日に」を歌い、歌詞の意味や歌われる場面を紹介し、最後に全員でサビを歌いました。また、紹介しきれない部分もあったので、歌詞の全文を英訳し、解説を入れたプリントも配布しました。yeronga 高校の一部の生徒にではありますが、埼玉県と日本の魅力を歌やクイズ、折り紙、書道などを通して感じてもらうことが出来たと思います。



日本と埼玉を紹介する会

②その他

埼玉を感じるお菓子などを持っていき、ホストファミリーや仲良くなった生徒に配りました。ホストファミリーへは、小松菜うどんを夕食として振る舞い、埼玉県の小松菜とうどんの魅力を伝えることができました。また、自身のリュックにコバトンの缶バッチをつけていくことで、ちょっとした時にコバトンを紹介することができました。ホストファミリーにも紹介したところ、ホストシスターが毎日、「日本に行ったらコバトンを買いたい！」と言うほど気に入ってくれたので、帰国の日にプレゼントしました。喜んでくれてよかったです。



ホストファミリーと小松菜うどん

6 まとめ

私は今回のプログラムで多くのことを学びました。このプログラムを企画・運営してくださった皆さま、そして今回の留学で出会った全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。また、私は今回高校 3 年生という世間で言う「受験生の夏」に留学をしました。私のどうしても参加したいという気持ちを受けとめ、協力、応援してくれた両親と学校の先生にもこの場を借りて感謝の気持ちを伝えたいです。そして、奨学生の 5 人と buddy の 6 人、みんなのおかげで私は楽しい 2 週間を過ごすことが出来ました。いつか、みんなでまた集まりたいです！私が今からこのプログラムに応募しようか悩んでいる方に伝えたいことは、「諦めない」とい

うことです。私は、このプログラムに高校 2 年生の時も応募し、不合格でした。しかし今回諦めずにもう 1 度挑戦し、参加することができました。そして、素晴らしい出会いと経験をすることが出来ました。最後になりますが、私をこのプログラムの奨学生として選んでいただき、本当にありがとうございました！



yeronga 高校での farewell party